

東山の森だより

【第7号】

発行：なごや東山の
森づくりの会
発行者：滝川 正子
編集：中西 たかお
発行月：2007年6月
(年2回発行)

§ § 東山の森から地球へ ‘東山「エコ」ミュージアム’ の提唱 § §

なごや東山の森づくりの会 代表

滝川 正子

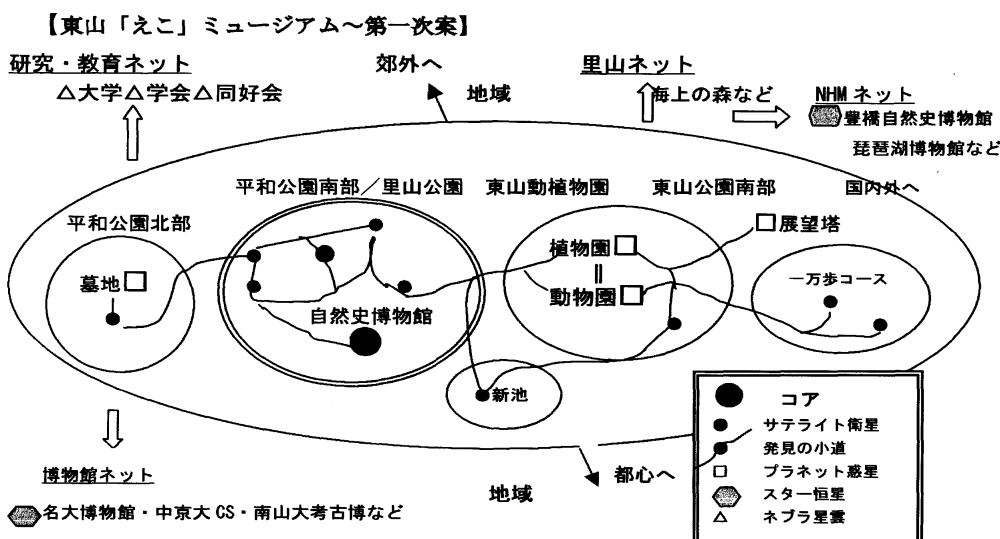
東山の森の隣接域に次々とマンションが建ち始めております。その売り文句が「都市と緑がなす雄大な眺めを・・・」「都市に護られた 美しき森に住まう」「都心域に位置するにもかかわらず、大切に守られ、継承されてきた自然は、名古屋の貴重な資産であるとともに、この地の歴史財産でもあります」とあります。このように東山の森が評価され、賞賛されはじめました。しかし、なんとかにも三分の理あり・・・とはこのことか？。そして、東山の森づくり基本構想の具体化にとって動植物園再生プランと生物多様性条約締結国会議（COP10）誘致は順風であることは周知のことです。

🌱🌱🌱 東山「エコ」ミュージアムの提唱 🌱🌱🌱

東山の森は名古屋の歴史的財産ともいえる生態系があります。そこに棲む生物の生き方や生物と環境の相互作用には、まさに「たくさんのふしぎ」知的好奇心を駆り立てるものがあります。また、近年の人間活動の高まりによる生態系の変化は、どの国も直面している環境問題であり、このような問題を紐解き、解決するためには東山の森の生態系の維持が必要となっていくと確信しております。そこで、東山の森から地球へ ‘東山「エコ」ミュージアム’ を提唱します。図は、平成19年3月、自然をいかしたまちづくりシンポジウム「名古屋の自然を語り継ぐために」の糸魚川淳二氏（名大名誉教授）の基調報告のものです。内容を共有することを願って要約をお伝えします。1. エコではなく「エコ」としたのは日本型ミュージアムを確立する。2. スローガンは、人と自然の歴史を刻む。3. 新しい要素として、図のプラネット・スター・ネブラの概念を新設する。4. キーワードは博物館、人と自然、地域、住民と行政、遺産の調査・保存・継続、エコロジーとエコノミーさらに包括性、多様性、柔軟性、複合性があること。そして、‘東山「エコ」ミュージアム’ の具体化とは1. 自然中心で、コアを自然史博物館とする。2. ものより人を中心にする。3. 人とは専門家から市民まで。4. 活動として、学習→展示→調査・研究→収集・保存、ビジターセンター、自然保護、情報発信などをする。5. 管理運営は

NPOであるが、継続的には学芸員の位置づけが元締めになる。6. 包括的な活動として多様なネットワークを構築する。

最後に、私たちは、立地条件に恵まれている東山の森に「エコ」ミュージアムを実現させる叡智を集め、動き始めております。



平成19年度総会

日時：5月26日(土) 18:30～20:50 会場：なごやボランティア・NPOセンター
確定会員数：114名 ・出席35名 ・委任状68名 計103名

会則第9条の会員の3分の1以上の規定を満たして総会成立。

開会に当って滝川代表、市緑政土木局 林課長による挨拶、森づくり憲章の確認朗読などオープニングセレモニーがあつて、議長選出。議長に選出された滝川代表により議事進行。1号議案から6号議案まで順次審議、承認され無事閉会。休憩を挟んでの自由討議では、市緑政土木局の川崎主幹、石黒主査から今話題の東山動植物園再生プランCOP10誘致への動きと東山の森づくりとの関わりについて解説があり、質疑応答が行われました。



なごや東山の森づくり憲章



私たち市民は、なごや東山の森づくりを通して共生型社会の実現をめざします。東山の森は、人々に潤いを与え、生き物たちに豊かな生育環境をもたらしています。東山の森は、人と自然の生命輝く森です。

私たちは、協働して森を守り育て、森と関わり、森づくりを生かし、次世代に森の大切さと素晴らしさを伝えることを目的としてここに憲章を定めます。

- 一、私たちは、東山の森の豊かな自然とともにあることを大切にします。
- 一、私たちは、森づくりを通して生活の知恵や技術を生
- 一、私たちは、協働して豊かな森づくりを進めます。

設立3周年記念イベント

「なごや東山の森 ハイキング」

日時：5月26日(土) 10:00～東山公園駅前広場集合
「自然とふれあい、ときどきゴミ拾い」をテーマに、のんびり、さわやか、じっくりの3コースに分かれて出発。爽やかな新緑の中、拾ったゴミをぶら下げての散策でした。それぞれのコースから裏山公園へ集合し、全員で和やかに昼食を楽しみ、休息のあとコースごとに再スタート。終着は集合場所で、完歩証明用のスタンプを押して貰って散会。ゴミの集積に当っては東山総合公園の方々に大変お世話になりました。



のんびりコースの散策風景

東山の森とその景観が今

- ・左の写真は、東山元町5丁目付近でのマンション建設現場。
- ・右の写真は、星ヶ丘で建設中のマンションをくらしの森の側から見たもの。



東山公園南部



平和公園南部

定例会

1月7日(日) 10:00～12:15 天候：雪

場 所：東山公園南部天白溪湿地

参加者：23名(内、子ども3名)

内 容：正月早々雪降りの中での作業となりましたが、多くの方が集まって来られ、湿地内及びその周辺での除草、笹刈りをしました。集合時間の少し前から降り出した雪が激しくなってきたので午前中で活動を終了。



2月4日(日) 9:00～14:00 天候：晴れ

場 所：平和公園南部ハンノキ湿地東上流部の竹やぶ

参加者：61名(内、子ども5名、一般参加20名)

内 容：この日は一般参加者10名、ボーイスカウト10名の参加があり賑やかな雰囲気での活動となりました。作業内容は湿地上流部の雑木林再生のための竹の除伐と竹林の整備。明るくなったことで林床植物や生物の活性化が期待されます。



3月4日(日) 9:00～14:00 天候：晴れ

場 所：東山公園南部天白溪湿地とその周辺

参加者：31名(内、子ども3名)

内 容：湿地下流部散策路の危険な箇所を回避するため新たな散策路を整備。湿地内で繁茂しているタデなどの雑草の刈り取りと湿地上流部での笹刈りなど湿地再生の為の活動。

マイマイカブリ、ヒメタイコウチなどの生物の棲息を確認。



4月1日(日) 10:00～15:00 天候：晴れ

場 所：平和公園南部くらしの森

参加者：39名(内、子ども4名)

今年度から「子ども東山の森づくり隊」隊員をこの定例会で受け入れることになり、上記4名はその該当者です。

内 容：東山動植物園再生プランとの関連で、里山風景の再現が話題になっている「くらしの森」を会員のみなさんで踏査検証し、資源マップづくりのワークショップを実施。午後は葦原の湿地で泥んこになりながらアシ刈りをする。アカガエル発見。



5月6日(日) 10:00～12:00 天候：雨

場 所：東山公園南部一粒荘跡地周辺

参加者：17名(内、子ども2名)

内 容：朝からの雨とゴールデンウィークの最終日ということの影響もあってか参加者が少ない。作業は、前回(11/5)の作業でやり残した竹の除伐。今年芽を出した若竹や雑草の除去と除伐した材の集積場所の補強など。竹材を求めに入ってきた人の仕業と思われるが、集積場所の一部が荒らされていた。



6月3日(日) 10:00～14:30 天候：晴れ

場 所：平和公園南部 中道の竹やぶ

参加者：定例会 46名((内子ども10名(内森づくり隊6名))

環境デーなごや関連 34名(内子ども21名)

内 容：中道沿いの今まで手付かずであった竹やぶを、竹林として整備。環境デーなごや2007の協賛事業との合同作業で、子どもの参加が多く、賑やかでした。子どもたちは午後、ダイコン鉄砲、紙鉄砲などのクラフトを楽しむ。



班活動紹介

☆平和公園里山班

毎月 第2、第4日曜日 活動エリア：平和公園南部
春に菜の花を一杯咲かせた畑で、花の終わった菜の花を抜き取りその後をヒマワリ畑にするための耕耘、畝立て、種まき等、会員の皆さんは、元気で楽しそうに汗を流していました。5月12日(土)には子ども森づくり隊の希望者がヒマワリの種まきを体験しました。また4月には、名古屋市みどりの協会の計らいで耕耘機が購入され、ヒマワリ畑での畝立て作業が捗ったようです。

新戦力の
耕耘機



☆ハンノキくらぶ : : : : : :

毎月 第4日曜日 活動エリア：平和公園南部の竹林
女性が主になって活動しているくらぶで、和やかでゆったりとした作業風景です。これまでは中道の中ほどにあるトウチク林の整備作業が主でしたが、ほぼ目的を達したということで、現在はそれより少し西よりの第2木道南のスズコナリヒラの竹林を整備しています。5月28日(月)に取材目的で参加しましたが、このときは林床植物の保護が目的でトウチク林に戻っての作業でした。初参加の女性や子どもの参加もあって皆さん楽しく汗を流していました。このくらぶの活動によって、美しい竹林が蘇りつつあります。



子ども東山の森づくり隊

なごや環境大学「共育講座」として

2月10日(土) 10:00~14:00 天候：晴れ

場 所：平和公園南部 「竹きりと竹馬・竹ポックリ作り」

参加者：46名 保護者：24名 スタッフ：24名

総勢：94名+α(隊員予備軍となる未就学児)

中道沿いのトウチク林にて、なぜ竹を伐るのか、作業上の注意などの話を聞いたあと、竹きり、枝払い、稈材の整理など竹林整備を体験。昼食はスタッフによる豚汁のサービスもあって和やかなひとときでした。

午後は除伐した竹材で竹馬、竹ポックリを楽しむ



5月12日(土) 10:00~14:00 天候：晴れ

場 所：平和公園南部 「冒険ハイキング」

参加者：53名 付き添いの保護者+未就学児：31名

スタッフ：23名 総勢：107名

チョウの博士、博士の弟子の昆虫少年からチョウの生態や観察のポイントなどの話を聞き、班ごとに自己紹介、写真撮影をして出発。22種類のチョウ、21種類のゾウムシ、トンボやクモなど森の中で生きている多くの昆虫や草花たちに出会って感動。

終了後、希望者はヒマワリ畑で種まき体験をする。

子ども森づくり隊の登録隊員数 86名(5月末日現在)

昨年度からの継続隊員 56名

本年度の新規登録隊員 30名

人も自然に生かされていることを体感し、自然を守り、育て、残していくことの大切さを理解し、行動する大人になってくれるよう期待されます。



名古屋の棲息生物調査 報告会

「自然をいかしたまちづくりシンポジウム 2007」

日時： 3月31日(土) 10:30~16:00

場所： 名古屋都市センター11階大研修室

・ 報告会 10:30~12:10

昨年、8月と9月に市内5箇所で行った昆虫の灯火採集で収集された膨大な数の種の分類作業の経過やそこから分かった生息環境。あるいは名古屋市初記録の昆虫が採集されたこと。また高岡豊彦さん(名古屋市緑政土木局)からは名古屋市緑被率の現状と課題。堀越哲美さん(名古屋工業大学教授)による「名古屋気温測定調査2005」の報告がありました。

灯火採集結果は「名古屋の棲息生物調査報告書2006」に纏められております。

・ シンポジウム 13:00~16:00

基調講演： 糸魚川淳二さん(名古屋大学名誉教授)

東山に「えこ」ミュージアムを！ と題して講演

パネルディスカッション「名古屋の自然を語り継ぐために」

コーディネーター： 林 進さん(岐阜大学名誉教授)

パネラー： 糸魚川淳二さん(名古屋大学名誉教授)

小笠原昭夫さん(日本野鳥の会)

松浦宏典さん(名古屋大学大学院生命農学研究科)

滝川正子さん(なごや東山の森づくりの会代表)

名古屋の自然とこれをいかにして次の世代へ繋いでいくか、熱いおもしろい話が語られ、会場みなさんも交えて意見交換が行われました。



名古屋の棲息生物調査 (灯火採集)

今年もやります！！

『環境の影響を受けやすい弱い虫たちががすめないまちは、やがて人間もがすめないまちになっていくのではないのでしょうか？』名古屋の自然環境の実態を知るために、昨年に続き灯火採集を実施します。

実施日： 7月14日(土) 8月11日(土) の2回

調査時間： 19:00~22:00

調査場所： 平和公園、相生山緑地、大高緑地、戸田川緑地、熱田神宮 の5箇所で行います。

スタッフ： 当会会員、昆虫の専門家、一般の協力者等

➡ 問い合わせは、6ページ最下段の連絡幹事まで。



その他の動き

☆くらしの森検討会がスタート

「なごや東山の森づくり基本構想」の中で「くらしの森」の位置づけられた平和公園南部地区が東山動植物園再生プランの動きと並行する形で整備計画が現実味をおびてきました。里山の自然、里の暮らし再現のスケジュールと内容を検討するための「くらしの森検討会」が設置されました。

5月28日(月)に第1回検討会が行われ、委員の紹介と検討事項の洗い出し、森づくりのコンセプトなど議論されました。委員は、森づくりの会5名、日本野鳥の会2名、行政2名で構成され、事務局は行政関係者が担当。



森の表情

森の恵み？でクラフトづくり

鬼頭 洋子

東山の森に繁茂して困りものの竹、クズ、シュロは手入れ作業が大変です。定例森づくり活動でも竹の手入れを行っていますがなかなか捗りません。その竹も、竹とんぼなどクラフトで甦ります。クズは森を覆いますが赤紫色の花が総状に咲く頃は甘いグレープの香りに誘われます。

そのクズ根を掘り、クズ餅づくり（毎年、里山のくらし体験講座を開講）で苦労したクズ餅の味は最高！。また、つるはリース材料に最適です。

森のあちこちに種を鳥が運んで生えているシュロは小さい内は抜き取れますが、大きく育ったものは始末に困ります。でも、このシュロの葉でつくるキリギリスは、世代を越えて一番の人気です。最近ではヘビ、カエル、カタツムリづくりに精を出しています。皆さんも作ってみませんか。



運営委員会

開催日時：毎月第3木曜日 18:30～20:55 場所：千種スポーツセンター第一会議室

会議参加者：役員、運営委員、名古屋市、(財)名古屋市みどりの協会、その他議題関係者など。

議題：森づくり定例会、主催事業の企画と結果報告。各種協賛事業、受託事業の実施計画と結果報告。東山動植物園再生プランに係わる提言などの検討。各種団体のフィールド訪問などの受け入れの検討。里山の家管理運営に係わる事案の協議。その他事案発生ごとに臨時委員会を召集し対応を協議。運営委員会は、会員みなさんの自由な参加の場です。みなさんの森づくりへの思いを伝える場として、活用してください。

今後の活動予定

定例会：毎月第1日曜日

7月1日 東山公園南部 9月2日 東山公園南部 11月4日 東山公園南部

8月5日 平和公園南部 10月7日 平和公園南部 12月2日 平和公園南部

集合場所、時間など詳細につきましては、その都度事前にメールなどで連絡致します。

下記ホームページでも案内しており、みなさんの積極的な参加をお待ちしています。

子ども東山の森づくり隊

第2回 8月4日(土) 「冒険ナイトハイキング」 18:00～20:30

第3回 11月10日(土) 「めざせ！ドングリ博士」 10:00～14:00



紹介

☆ホームページをご利用ください！！

会の活動を紹介するホームページが開設されています。

定例活動、子ども森づくり隊の案内、結果の報告、班活動や各種イベントの紹介、森の中で観察された花や鳥の紹介など内容豊富です。是非アクセスしてみてください。

URL: <http://www.higashiyama-mori.sakura.ne.jp/>



☆冊子「名古屋の棲息生物調査報告書2006」 頒布中！ 1冊 1,000円

昨年行われた市内5箇所での灯火採集の結果として収集された豊富なデータや写真、名古屋初記録の昆虫の紹介など、お役立ち情報満載です。

申し込み・問い合わせは 下記、連絡幹事または里山の家へ。 《会員数：5月31日現在 121名》

人と自然の いのち輝く森

「東山の森づくり」に参加しませんか！！

年会費：2,000円（企業：10,000円/1口以上）

入会申込・問合せ：〔連絡幹事〕鬼頭 保

Tel/Fax: 052-751-9510

e-mail: kito022445@mediacat.ne.jp

編集後記

東山の森が注目を集めています。いろいろな形で訪れるひとが増えており、多様な生態系を育む自然を守っていくことの大切さを実感する場として、情報発信のひろがり期待されます。

広報幹事 中西たかお Tel/Fax: 052-781-7530

e-mail: ntakao33@titan.ocn.ne.jp